

平成24年度の事業及びその収入決算書が整いましたので皆様方にお諮り申し上げ、充分なご審議を頂きご承認を賜りたく本総会をご案内申し上げました所、猛暑、ご多忙の折多くの方々にご参集をいただき開催できました事は、誠にありがたく心より御礼を申し上げます。

昨年度を振り返ってみますとまだ空白の20年、デフレ不況15年、東日本大震災等の後遺症の続く困難な年でありましたが、会員の皆様方には大変なご努力を頂き、当初予想致しておりました以上の実績成果を上げて下さり、県下でもお褒めを頂いております。繰り返しになりますが、会議所とは多くの中小零細企業が集まり、お互いに分かち合い、助け合って共に生き残るための組織であり、多くの小さな声をまとめて政治や行政へと提案、反映する役目を持って居ります。私共会議所は、政治、行政とパイプの太さは県下周知の通りであり、これからも市民の声を大切に生かしながら、行政と一体となって護送船団方式によって地場産業の生き残りや成長に寄与して参ります。特に前例の無い少子高齢、人口減少社会にあって皆様方をお願い申し上げたいことは、政治、行政、会議所が何をしてくれるかを待つのではなく、皆様方が行政の機能、会議所の組織力を活用して下さるか！であります。多くの声をまとめて提案する事は出来ませんが、多くの中小企業主、個人個人の希望・願望はそれぞれ業種・規模・地域・哲学によってそれぞれ大きく異なっているからであります。

今、日本の多くの中小企業が廃業する一番多い理由は「後継者がいないから！」であります。

県下で「君津は元気ですね」と言われる理由の一つに私共会議所は県下で最も良き後継者に恵まれている事であります。

現在、青年部、女性会合わせて凡そ220名の会員数は県下で断崖一番であり、その活動も全国表彰を受ける素晴らしい活躍であります。この部、会を育ててくれた歴代の先輩達に敬意を表すると共に、君津の中小企業主の皆さんが如何に魅力ある仕事をされ、多くの後継者を育てられたことに改めて深く感謝申し上げたいと存じます。来年秋、木更津築地にイオンがオープンいたします。周辺人口70万人、観光流入人口3,300万人を対象とし1,200万人の入場を見込んでおります。私達はこれにどう対処するかでなく、3,300万人の観光流入人口を地域の魅力と永年の皆様方が培った温かい感性、経験手腕を活かされて観光客を味方にして下さい。観光客1人当たりのGDPは1万円ありますから単純計算すれば3,300億円と言う素晴らしいチャンス到来と考えて下さい。また一方では大店法が無くなって商店街が減少し、都会の中にも限界集落、買い物難民が生まれ、多くの市民が苦勞致して居ります。市行政とこれに対応すべく先進地視察、調査を今進めております。9月頃から仮称「買物お助け隊」プロジェクトを立ち上げ、皆様とご相談させていただきます。詳細はすでにFAX通信に記載いたしてあります。多くの業種、会員の参加を期待致しております。

木更津商工会議所との合併は、専門委員会を設け、前向きに皆様と検討を進めたいと考えて居ります。

いよいよ祭りの季節です。孤立社会が心配される時、日本の祭りは最大のコミュニケーションの場です。会員の皆様の一層のご努力をお願い申し上げ、37回通常議員総会のご挨拶とさせていただきます。